

咽喉H.R.M.セミナーのご案内

消化管機能検査を始めていこうと考えられている方へ

— ハンズオンセミナー 嚥下マノメトリー —

日時・会場

- ・ 2015年9月11日(金曜日)
- ・ 時 間 : 17:30～ 19:00
- ・ 場 所 : 国立京都国際会館
/ Room104
- ・ 人 数 : 30名

セミナー概要

- ・ 嚥下生理学とマノメトリー
- ・ 高解像度マノメトリーのデモンストレーション
- ・ マノメトリーからみた嚥下障害

プログラム

17:30～	始まりの挨拶 演者 青柳 陽一郎 准教授
	嚥下生理学とマノメトリー 演者 青柳 陽一郎 准教授
17:55	高解像度マノメトリーのデモンストレーション 演者 青柳 陽一郎 准教授 栗飯原 けい子 先生
18:35～	マノメトリーからみた嚥下障害 演者 浜松市リハビリ病院 リハビリテーション科 國枝 顕二郎 先生
18:55～	質疑応答
19:00	終了

募集概要

- ・ 定 員 30人(事前予約制)
- ・ 募集対象者 これから消化管機能検査を始めていこうと考えられている方
医師、ST
- ・ 参加費 ¥ 1,000(当日徴収)

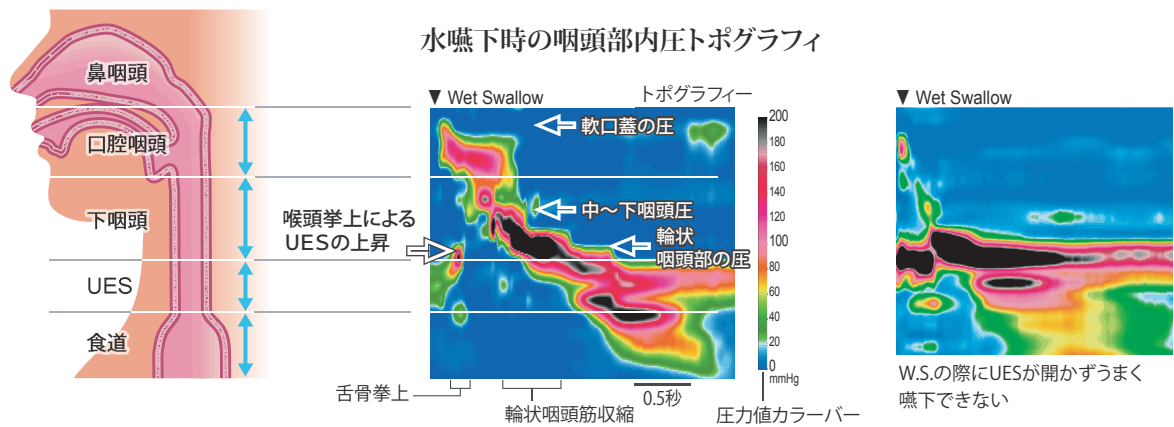
共 催

スターメディカル株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-14-12 太陽ビル5F Tel.(03)5604-1641 Fax.(03)5604-1645
E-mail : starmedical@starmedical.co.jp http : //www.starmedical.co.jp

ハンズオンセミナー

嚥下マノメトリー – 消化管機能検査を始めたい人のために –



1. 嚥下生理学とマノメトリー

演者：青柳陽一郎

所属：藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座

抄録：嚥下反射は、舌骨挙上にはじまり、喉頭挙上、咽頭筋収縮、上部食道括約筋部 (upper esophageal sphincter, UES) 弛緩と続く。嚥下反射時に上咽頭から中咽頭、下咽頭、UESへと協調的かつ連続的に嚥下関与筋が活動する際に、嚥下圧が発生する。マノメトリーでは、この咽頭内圧の時間的、空間的变化を記録し評価する。本講演では、嚥下反射の神経生理学的側面の概略を説明し、マノメトリーがどの生理学的現象をみているのかについて概説する。

2. 高解像度マノメトリーのデモンストレーション

演者：青柳陽一郎¹⁾、栗飯原けい子²⁾

所属：1) 藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座

2) 藤田保健衛生大学病院リハビリテーション部

抄録：圧センサーが1cm間隔で36個搭載されている高解像度マノメトリー (high-resolution manometry, HRM) を用いると、上咽頭から食道まで空間的に一度に連続したデータを得ることができる。HRMカテーテルから測定された圧データはリアルタイムでモニター上に圧トポグラフィとして表示される。保存されたデータは、専用の解析ソフトを用いて、圧、時間、距離に関して詳細な計測が可能である。このセクションでは、実際にHRMの挿入を行い、モニタリング、計測法などをデモンストレーションする。

3. マノメトリーからみた嚥下障害

演者：國枝顕二郎 藤島一郎

所属：浜松リハビリテーション病院リハビリテーション科

抄録：嚥下障害の原因や神経生理学的側面を評価するにはマノメトリーが有用である。本講演では、摂食嚥下リハビリテーションにおける訓練法や、嚥下障害でよくみられる咽頭内圧の低下、嚥下関与筋のタイミング異常、UES弛緩障害などに関するマノメトリーのトポグラフィや圧波形を示し、訓練手技の嚥下動態や、臨床応用について概説する。